

令和 7 年 12 月 24 日

都城市議会  
議長 神脇 清照 様

広報広聴委員会  
委員長 森 りえ

## 広報広聴委員会報告書

令和 6 年第 2 回都城市議会定例会において、閉会中も継続して調査をするものとして、申し出た事件について、その調査結果を会議規則第 110 条の規定により、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1 調査事項

- (1) 議会広報誌の編集及び発行に関する事項について
- (2) 議会報告会の実施に関する事項について
- (3) 意見交換の場に関する事項について
- (4) 都城市議会基本条例の広報広聴委員会に関する事項について

#### 2 本市議会における現状及び課題等について

- (1) 議会広報誌の編集及び発行に関する事項について

##### ア 現 状

- ・ 年 4 回発行（定例会後の翌々月 1 日前後）
- ・ 記事の構成（担当ページ）は、その都度、委員会で協議
- ・ 一般質問のページは質問者の数に拘わらず「2 ページ」固定
- ・ 校正のための委員会を 3 回開催

##### イ 課 題

- ・ 配付範囲が公民館加入者のみで「全市民」に届いていない（限定的）
- ・ 一般質問の答弁内容の記載に対し不満の声がある
- ・ QR コード利用への抵抗感もある
- ・ 発行日変更に伴う編集作業時間の確保と委員への負荷が増加

- (2) 議会報告会の実施に関する事項について

##### ア 現 状

- ・ 令和 6 年度は、今後の実施方法を協議・調整（報告会実施せず）
- ・ 令和 7 年度は、「7 月 30 日」に実施
- ・ 議会活動を報告する「全体会」と、常任委員会がテーマ設定し意見交換する「分科会」の 2 部構成で実施

## イ 課 題

- ・ 令和7年度は実施要領を見直し、議会報告会においても意見交換会を合わせて開催することとしたが、より機動性を高めるために実施方法（内容）について、若年層の参加意欲の向上に繋がる「オンライン開催」などを含めた効果的な実施方法の調査・研究が必要
- ・ 報告会内での報告方法・資料の提示について検討が必要
- ・ 開催の告知方法（告知期間も含む）について検討が必要

## （３） 意見交換の場に関する事項について

### ア 現 状

- ・ 市内の高校に対して、営業活動（意見交換会のお知らせ）を実施
- ・ その結果、市内高校、市民団体、社会福祉協議会、南九州大学など、多様な団体と意見交換会を実施
- ・ 意見交換会のテーマを申込団体が設定するため、そのテーマ（内容）を所管する委員会が参加（対応）
- ・ 実施状況については、市議会だよりで特集記事を掲載

## イ 課 題

- ・ 参加団体の申し込みを待つのではなく、議会側が各種団体や市民サークル等に積極的に働きかけることが必要
- ・ 高校生・大学生との意見交換は貴重であり、今後も若者の声を聴く広聴活動の強化が必要
- ・ 意見交換会での市民の意見については、広報広聴委員会だけではなく、政策提言協議会等も活用し、議会の政策提言サイクルに反映させる仕組みを確立させることが必要

## （４） 都城市議会基本条例の広報広聴委員会に関する事項について

### ア 現 状

- ・ 議会報告会（意見交換会）実施要領を改正し、市民との対話のあり方を明確化（愛称設定、4種類の開催分類など）した。
- ・ 高校生や大学生との意見交換会の開催回数の増加と共に、幅広い年齢層の意見聴取が可能となった。
- ・ 意見交換会に係る調整等については、広報広聴委員会が対応

## イ 課 題

- ・ SNSでの投稿など、議会活動を積極的に発信し、市民の理解を図る活動の検討、推進
- ・ 市民の多様な声を議会運営に反映させるための仕組みづくり
- ・ 広報広聴委員会における活動サイクルの確立（広報・広聴のバランス）
- ・ 広報広聴活動に係る委員の負担軽減策の検討

### 3 調査・活動の経過

#### 【令和6年】

日 程	活 動	内 容
2月9日	委員会 (委員間討議)	1 正・副委員長の互選について 2 その他(次回の委員会日程の決定について)
2月26日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 41 の校正(スケジュール確認)について 2 年間計画について 3 その他(意見交換会について)
3月12日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 41 の校正(レイアウト協議)について 2 南九州大学新入生オリエンテーションについて 3 広報広聴委員会関係の要項の改正について
3月15日	委員会 (委員間討議)	1 所管事務継続調査申出書について 2 その他(モアノートへの資料の格納について ほか)
4月4日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 41 の校正(初稿)について 2 南九州大学新入生オリエンテーションについて 3 「みやこのじょう市議会だより」表紙写真募集要項の廃止について
4月8日	南九大 新入生オリエン テーション参加	出席議員：森委員長・川内委員・坂元委員・綿屋委員 1 市議会の紹介 2 意見交換会の申し込み呼びかけ
4月12日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 41 (2校目)の校正について 2 「みやこのじょう市議会だより」表紙写真募集要項の廃止について 3 行政視察対応について
4月18日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 41 (3校目)の校正について 2 行政視察対応について 3 その他(ランチミーティング ほか)
4月23日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 41 (最終稿)の校正について 2 ランチミーティングについて 【長内アドバイザー・渡辺アドバイザー同席】 3 行政視察対応について
5月10日	視察受入	千葉県袖ケ浦市議会：市議会だよりの発行 オンライン議会報告会について
5月31日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 42 の校正(スケジュール確認)について 2 「第51回盆地まつり」について 3 議会だより配付先について 4 都城工業高校との意見交換会について 5 その他(今後の協議事項)
6月10日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 42 の校正(レイアウト協議)について 2 「第51回盆地まつり」について 3 議会だより配付先について 4 都城工業高校との意見交換会について 5 その他(今後の協議事項)

6月17日	委員会 (委員間討議)	1 都城工業高校との意見交換会について 2 今後の意見交換会実施について 3 その他(今後の協議事項)
7月 4日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 42 の校正(初稿)について 2 今後の意見交換会について 3 その他(今後の協議事項)
7月 9日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 42 の校正(2校目)について 2 今後の意見交換会について 3 その他(今後の協議事項)
7月10日	意見交換会	「都城工業高校」との意見交換会 テーマ: 議会のしくみについて知る これからの都城について考える 場 所: 五十市地区公民館 参加者: 広報広聴委員(8名)・4常任委員会(各1名)
7月12日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 42 の校正(3校目)について 2 今後の意見交換会について 3 行政視察の申し込みについて 4 その他(工業高校生徒会の「都城市に関するアンケート」集約結果について ほか)
7月17日	意見交換会	「むじっこみまもりたい」との意見交換会 テーマ: 都城市の困窮世帯の実態と「むじっこみまもりたい」の活動について 場 所: 市役所本庁舎6階 第3研修室 参加者: 全議員へ通知(案内)
7月18日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 42 の校正(4校目)について 2 今後の意見交換会について 3 行政視察の申し込みについて 4 その他(議会報告会について ほか)
7月23日	委員会 (委員間討議)	1 意見交換会実施後の分析について 2 今後の意見交換会の実施計画について 3 その他(アドバイザー(長内氏・渡辺氏)との意見交換会について ほか)
8月21日	委員会 (委員間討議)	1 意見交換会の実施状況について 2 意見交換会実施後の活動について【長内アドバイザー同席】 3 議会だより No. 43 の校正(スケジュール確認)について 4 その他(行政視察について ほか)
9月 2日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 43 の校正(レイアウト協議)について 2 その他(議会報告会について ほか)
10月 9日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 43 の校正(初稿)について 2 議会報告会について 3 今後の意見交換会について 4 今後の行政視察対応について 5 その他(今後の協議事項)

10月15日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 43 の校正（2校目）について 2 議会報告会について 3 今後の意見交換会について 4 今後の行政視察対応について 5 その他（今後の協議事項）
10月18日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 43 の校正（3校目）について 2 意見交換会について 3 行政視察対応について 4 議会報告会について 5 その他（今後の協議事項）
10月24日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 43 の校正（4校目）について 2 意見交換会について 3 議会報告会について 4 その他（行政視察後の交流会について ほか）
10月24日	行政視察	大分県佐伯市議会：オンライン議会報告会について ～令和5年度議会報告会（実施状況）～
10月31日	行政視察	青森県三沢市議会：市議会だよりについて 議会報告会について
11月 1日	意見交換会	「高城高校」との意見交換会 テーマ：「都城の課題」「都城の将来」について考える 場 所：高城生涯学習センター 学習室1 参加者：広報広聴委員（8名）・その他の議員（4名）
11月 7日	行政視察	神奈川県秦野市議会：議会改革について 広報広聴機能について
11月21日	意見交換会	「都城東高校」との意見交換会 テーマ： 未来を拓く 「都城の課題」「都城の将来」について考える 場 所：都城東高校 視聴覚室 参加者：広報広聴委員（8名）・その他の議員（2名）
11月22日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 44 の校正（スケジュール確認）について 2 都城市議会「市議会だより」作成要項の見直しについて 3 議会報告会について 4 その他（来年度以降の委員会活動について ほか）
11月29日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 44 の校正（レイアウト協議）について 2 都城市議会「市議会だより」作成要項の見直しについて 3 議会報告会について 4 その他（議長諮問について ほか）
12月25日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 44 の校正（初稿）について 2 意見交換会について 3 その他（議長諮問について ほか）

【令和 7 年】

日 程	活 動	内 容
1 月 7 日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 44 の校正（2 校目）について 2 意見交換会について 3 その他（議長諮問について ほか）
1 月 10 日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 44 の校正（3 校目）について 2 意見交換会について 3 その他（議長諮問について ほか）
1 月 16 日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 44 の校正（4 校目）について 2 意見交換会について 3 その他（議長諮問について ほか） ※広報広聴活動に係る課題の抽出のため 委員間での「ブレインストーミング（ブレスト）」実施
1 月 21 日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 44 の校正（最終稿）について 2 意見交換会について 3 その他（「意見交換会」と「議会報告会」の一体化について ほか）
1 月 21 日	意見交換会	「都城聖ドミニコ学園」との意見交換会 テーマ：女子高校生が考える都城の課題 ～子ども達にとって楽しい都城にするためには ほか～ 場 所：都城聖ドミニコ学園高校 愛真館 参加者：広報広聴委員（8 名）・その他の議員（2 名）
2 月 5 日	委員会 (委員間討議)	1 意見交換会について 2 来年度以降の委員会活動について 3 その他（来年度の「議会だより」発行日について ほか） ※次年度の行政連絡文書発行日変更（15 日廃止）に伴う協議
2 月 5 日	意見交換会	「中郷地区福祉協議会」との意見交換会 テーマ：中郷地区における移動支援と空き家対策について ～中郷地区の地域課題解決に向け～ 場 所：藤田研修館 参加者：広報広聴委員（8 名）・総務委員会・建設委員会
2 月 21 日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより発行に伴う仕様変更について ※令和 7 年度発行日変更に伴う「作成要項」の修正を協議 2 議会だより No. 45 の校正について (スケジュール確認・レイアウト協議) 3 来年度以降の委員会活動について 4 その他

3月11日	委員会 (委員間討議)	1 都城市議会「市議会だより」作成要項について 2 議会報告会について 3 その他(「意見交換の場」・「議会報告会」開催要項の統合改正について ほか)
4月 4日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 45 の校正(初稿)について 2 南九州大学新入生オリエンテーションについて 3 議会報告会について 4 その他(要項改正について ほか)
4月 8日	南九大 新入生オリエン テーション参加	出席議員：小玉副委員長・畑中委員・広瀬委員・羽田野委員 1 市議会の紹介 2 意見交換会の申し込み呼びかけ
4月 9日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 45 の校正(2校目)について 2 意見交換会の振り返りについて 3 その他(要項改正について ほか)
4月14日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 45 の校正(3校目)について 2 意見交換会の振り返りについて 3 その他(7/30の意見交換会(議会報告会)について ほか)
5月14日	委員会 (委員間討議)	1 政策提言協議会幹事会の委員長報告について 2 議会報告会(意見交換会)について 3 要項改正(案)について 4 その他(都城工業高校の「議会傍聴」及び「意見交換会」について ほか)
6月 2日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 46 の校正について (スケジュール確認・レイアウト協議) 2 千葉県袖ケ浦市議会広報広聴特別委員会 「オンライン視察」について 3 意見交換会について 4 議会報告会(意見交換会)について 5 その他(アドバイザー招へいについて ほか) ※大学との連携取組み事例等の紹介など
6月18日	委員会 (委員間討議)	1 要項改正(意見交換会・議会報告会)について 2 その他(議会だより(No.46)レイアウトの一部変更について ほか)
7月3日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 46 の校正(初稿)について 2 千葉県袖ケ浦市議会広報広聴特別委員会 「オンライン視察」について 3 意見交換会について 4 議会報告会(意見交換会)について 5 その他(要項改正について(報告) ほか)

7月3日	意見交換会	<p>「都城工業高校」との意見交換会  テーマ：これからの都城について考える  ～今、高校生（若者）が考えていることとは～  場 所：都城工業高等学校内  参加者：広報広聴委員（8名）・その他の議員（4名）</p>
7月 8日	委員会 (委員間討議)	<p>1 議会だより No. 46 の校正（2校目）について  2 千葉県袖ケ浦市議会広報広聴特別委員会  「オンライン視察」について  3 意見交換会について  4 議会報告会（意見交換会）について  5 その他（アドバイザー招へいについて ほか）</p>
7月 8日	意見交換会	<p>「南九州大学」との意見交換会  テーマ：地域課題解決に果たす学生の役割について  ～大学生による地域課題解決活動の意義について考える～  場 所：南九州大学 都城キャンパス  参加者：広報広聴委員（8名）・各常任委員会正副委員長（6名）</p>
7月11日	委員会 (委員間討議)	<p>1 議会だより No. 46 の校正（3校目）について  2 千葉県袖ケ浦市議会広報広聴特別委員会  「オンライン視察」について  3 その他（質問事項の処理について ほか）</p>
7月11日	行政視察対応 (オンライン)	<p>千葉県袖ケ浦市議会：みやこのじょう市議会だよりの発行について  ほか</p>
7月30日	委員会 (委員間討議)	<p>1 大学や高校等との連携事業について  【渡辺アドバイザー同席】  2 議会報告会（意見交換会）について  3 その他（質問事項の処理について ほか）</p>
7月30日	議会報告会 意見交換会	<p>令和7年度議会報告会（意見交換会）  「じゃっどん じゃが！じゃが！議会としゃべろう」  ～あなたの声がまちを動かす第一歩～</p>
8月4日	意見交換会	<p>『都城万博（高校生有志主催）』での意見交換会  テーマ：高校生が語る「高校の現状、未来、そして都城の未来」  場 所：未来創造ステーション会議室1  参加者：広報広聴委員（8名）・その他の議員（2名）</p>
8月26日	委員会 (委員間討議)	<p>1 議会だより No. 47 の校正について  （スケジュール確認・レイアウト協議）  2 議会報告会（意見交換会）について  3 南九州大学との連携について  4 その他（行政視察について ほか）</p>



10月1日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 47 の校正について (初稿) 2 南九州大学との連携について 3 行政視察について 4 意見交換会について
10月6日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 47 の校正について (2校目) 2 意見交換会について 3 その他 (「都城万博」について ほか)
10月9日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 47 の校正について (3校目) 2 意見交換会について 3 その他 (「所管事務調査報告書」について ほか)
11月13日	意見交換会	「都城みらい創造研究会」との意見交換会 テーマ：都城市の事業課題について ①都城市の移住応援給付金について ②霧島酒造スポーツランド都城 (山之口) の活用、並びに 周辺の問題 (駐車場、宿泊所、など) について ③ふるさと納税について 場 所：㈱新原産業 2F 会議室 参加者：広報広聴委員 (8名)・各常任委員会正副委員長 (6名)
11月19日	行政視察対応	兵庫県伊丹市議会：市民との意見交換会について ※議会改革検討特別委員会 (7名)
11月19日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 48 の校正について (スケジュール確認・レイアウト協議) 2 所管事務調査報告について 3 「都城万博」について 4 南九州大学との連携協定書 (素案) について 5 その他
12月6日	意見交換会	『都城万博 (高校生有志主催)』での意見交換会 テーマ：高校生が語る「高校の現状、未来、そして都城の未来」 場 所：南九州大学 都城キャンパス 参加者：広報広聴委員 (8名)・その他の議員 (12名)
12月24日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 48 の校正について (スケジュール確認・レイアウト協議) 2 所管事務調査報告について 3 その他

## 4 調査の内容

### (1) 議会広報誌の編集及び発行に関する事項について

**市議会だよりを年4回、計8回発行した。**

- ・市議会だより No. 4 1 (令和6年 5月 15日発行号)
- ・市議会だより No. 4 2 (令和6年 8月 9日発行号)
- ・市議会だより No. 4 3 (令和6年 11月 15日発行号)
- ・市議会だより No. 4 4 (令和7年 2月 14日発行号)
- ・市議会だより No. 4 5 (令和7年 5月 1日発行号)
- ・市議会だより No. 4 6 (令和7年 8月 1日発行号)
- ・市議会だより No. 4 7 (令和7年 11月 1日発行号)
- ・市議会だより No. 4 8 (令和8年 2月 1日発行号)

○議会だより No. 42 から「左とじ」に変更

見開きページが活用しやすくなり、特集が組みやすくなった。

○市議会だよりの発行日が「1日」に変更

発行月は、2月、5月、8月、11月で変更なし。

○裏表紙に次号案内(予告)を掲載

次号案内(予告)を掲載することで、関心を持ってもらえるようになった。

○表紙、裏表紙の位置づけ変更

情報掲載ページとして位置づけたことで、掲載できる情報量(内容)が増えた。

○表紙の工夫

都城東高校(生徒)へ表紙デザインを依頼し、提出のデザイン案から採用した。

○「市議会だより」の作成に係るアンケートを実施

アンケートの結果、「紙面の大きさ」「カラーページ」及び「ページ数」等については、現状のままとした。

### (2) 議会報告会の実施に関する事項について

#### ①令和6年度

前年度はオンラインで開催しており、対面で機動的に議会報告会を実施するための実施方法について、協議・調整(見直し)が必要となり中止した。

#### ②令和7年度

**議会報告会(意見交換会)を下記のとおり実施した。**

##### **実施内容**

日 時：令和7年7月30日(水) 18:00～20:00

場 所：コミュニティセンター(姫城町)

全体会：令和6年度から令和7年度6月までの議会の活動を報告

○総務委員会が政策提言した「地域公共交通利用者増加に向けた  
都城駅待合室等の整備」が実現

- 条例案の修正案や附帯決議を全会一致で可決
- 主権者の参画に関する取り組み
  - 市内の高校と意見交換会を実施
  - (都城工業高校、高城高校、都城東高校（現：櫻美学園高校）、ドミニコ学園)
- 上記のほか、地域の団体との意見交換会を実施

分科会：各常任委員会の「テーマ」に沿って意見交換を実施

○総務委員会：公民館活動について

～意見～

①加入者や役員について

- ・集合住宅世帯の加入も少ない。
- ・高齢者も就労を続ける人が増え、役員のなり手不足。

②情報発信について

- ・夏祭りなどの開催場所が分からない。
- ・ネット検索でも情報が見つからない。

③その他

- ・「おねっこ」などの、昔からの行事の復活

ほか

○文教厚生委員会：子どもの居場所について

～意見～

①公園・公共施設について

- ・公園のトイレの問題
- ・インクルーシブ遊具の設置
- ・保護者が見守れる環境の整備

②若者の居場所について

- ・中高生が勉強できる場所の整備
- ・気軽に集まれる居場所の不足。

③その他

- ・小中学校でのタブレットの活用
- ・学校給食の無償化
- ・未就学児等の保護者への情報提供の充実

ほか

○建設委員会：住宅問題について

～意見～

①空き家問題について

- ・住宅購入支援
- ・マッチングサイト（官民連携）の設立
- ・地域資源として有効活用（仕組みの整備）

②住宅問題

- ・市営住宅のあり方の見直し
- ・民間の管理

③その他

- ・道路の改修 ほか

○産業経済委員会：農業の振興について

～意見～

①農業の担い手確保について

- ・要件が厳しい  
(次世代人材投資資金、認定農家など)
- ・法人就農は給与水準が低い
- ・農業を希望する移住者は多いが、新規就農の壁が高い。

②所得目標と農業経営について

- ・所得目標額（460 万円）は現実的でない。
- ・国に米農家への価格保証制度を求めている。

ほか

(3) 意見交換会の実施に関する事項について

①令和6年度

意見交換会を下記のとおり実施した。

**実施内容**

○市民団体「むじっこみまもりたい」

◆日 時：令和6年7月17日（水）13：30 ～ 15：51

◆会 場：市役所本庁舎6階第3研修室

◆テーマ：都城市の困窮世帯の実態について

「むじっこみまもりたい」の活動について

◆参加者：団体5名、議員17名（広報広聴委員ほか、希望議員）

◆内 容：活動紹介・質疑など ※詳細は下記のとおり

～活動紹介～

- ・子どもの7人に1人が貧困。
- ・市内7エリアで活動中。
- ・拡大準備中の地区が4地区。
- ・対話しながら食料品などを配布し、相談に繋がっている。

～質疑～

- ・困っている方との繋がり、支援の方法  
→ 本人、子ども家庭課、社協等からの連絡など
- ・活動のきっかけ  
→ 子ども達がお腹いっぱい安心して眠れたら、お母さん達の気持ちが楽になる！との思いから

- ・ 宅食訪問の回数 → 月に1回（2～3日分を届ける）
- ・ 連絡先 → パンフレットのQRコード
- ・ 食材の集め方 → 口コミ、企業等に協力依頼 ほか

#### ○宮崎県立都城工業高校

- ◆日 時：令和6年7月10日（水）15：30 ～ 17：00
- ◆会 場：五十市地区公民館
- ◆テーマ：未来の「都城市」について  
           どんな都城市になってほしいか  
           都城でどんな風に暮らしたいか など
- ◆参加者：高校生16人  
           議 員12人（広報広聴委員ほか、各常任委員会委員長）
- ◆内 容：政治のイメージ・議員活動関連・政策（地域貢献） など  
           ※事前に質問事項の提供あり
- ◆その他：選挙管理委員会「委員長」に参加依頼  
           選管委員長が主権者教育の一環として選挙に係る講話を実施  
           その後、意見交換会へも参加（同席）

#### ○宮崎県立高城高校

- ◆日 時：令和6年11月1日（金）14：00 ～ 15：30
- ◆会 場：高城生涯学習センター
- ◆テーマ：都城市の良いところ ほか
- ◆参加者：生徒26名、議員10名（広報広聴委員ほか、希望議員）  
           ※選挙管理委員会「委員長」出席
- ◆内 容：詳細は下記のとおり  
           ～意見～
  - ・ 衆院議員選挙、市長選挙（無投票）
  - ・ 初めて投票に行った生徒から感想
  - ・ 公共交通の問題点について（バスのルート、保護者の送迎 など）
  - ・ 都城市の良いところ（自然が豊かで食べ物がおいしい ほか）
  - ・ 都城市に欲しいもの（施設含む）
  - ・ 高校生の居場所（無料で利用できる体育館 など）
  - ・ 自然を活用した施設
  - ・ 市内で就職したいが自分がやりたい仕事がない

#### ○都城東高校（現：櫻美学園高校）

- ◆日 時：令和6年11月21日（木）13：40 ～ 15：10
- ◆会 場：都城東高校（視聴覚室）
- ◆テーマ：「未来を拓く」について
- ◆参加者：生徒35名、議員10名（広報広聴委員ほか、希望議員）
- ◆内 容：詳細は下記のとおり

～意見～

- ・議員の報酬
- ・議員の休日の活動内容（何をしているのか）
- ・議員になった理由
- ・議員と市長の「選挙」の違い
- ・ふるさと納税、市税の使い方
- ・公共交通サービスの充実
- ・街灯設置（帰り道が暗い）、道路の補修
- ・高校生の居場所（遊び場「ラウンドワン」の誘致 など）
- ・都城市に残りたいが働く職種がない（問題）
- ・都会がいい（進学で宮崎の学校へ行くつもり）
- ・暮らし慣れた都城市に帰りたい ほか

#### ○都城聖ドミニコ学園高校

- ◆日 時：令和7年1月21日（火）15：30 ～ 17：00
- ◆会 場：ドミニコ学園内「愛真館」
- ◆テーマ：女子高生が考える「都城」の課題
- ◆参加者：生徒12名、議員11名（広報広聴委員ほか、希望議員）
- ◆内 容：詳細は下記のとおり

～意見～

- ・私立高校の経済的支援（市の補助金制度検討）
- ・県立と比較して学費・施設費の負担大
- ・商店街の活性化（「スターバックス」などの誘致）
- ・空き店舗の期間限定貸出し（学習スペース、SDGs 販売 など）
- ・遊ぶ場所
- ・公共交通の充実（学校と図書館を結ぶシャトルバスの導入 など）
- ・交通費補助制度の検討
- ・高校生向けの学習・交流スペース（Wi-Fi・コンセント完備の学習）
- ・多世代交流の場所設置 ほか

## ○中郷地区社会福祉協議会

◆日 時：令和7年2月5日（水）13：30 ～ 15：00

◆会 場：藤田研修館

◆参加者：中郷地区社会福祉協議会 27 名、  
議員 18 名（広報広聴委員ほか、総務委員・建設委員）

◆内 容：詳細は下記のとおり

～意見～

- ・交通、道路インフラ（新たな交通手段（コミュニティバス）の運行）
- ・防災、安全対策（地震・水害対策、避難所の設備改善、地域防災訓練ほか）
- ・地域活性化イベント（祭り、行事継続・継承）
- ・若者の自治公民館加入促進
- ・買い物カーの利用減（欲しいものが少ない）
- ・福祉・高齢者支援（高齢者向け交通サービス）
- ・介護施設の充実と情報発信
- ・見守り活動強化横断歩道での車両がとまらない。
- ・環境問題（ゴミの不法投棄問題、有害鳥獣の駆除強化 ほか）
- ・公園整備（高齢化による公園・緑地維持管理の負担 ほか）
- ・空き家対策、空き家の活用（学習支援、子ども食堂 など）
- ・教育、子育て支援（家庭教育の格差 ほか）

## ②令和7年度

意見交換会を下記のとおり実施した。

### 実施内容

## ○宮崎県立都城工業高校

◆日 時：令和7年7月3日（木）15：30 ～ 17：00

◆会 場：都城工業高校

◆テーマ：都城で一番問題だと感じていること  
都城を今後どうよくしていきたいか

◆参加者：生徒 29 名、議員 12 名（広報広聴委員ほか、希望議員）

◆内 容：詳細は下記のとおり

～意見～

- ・娯楽施設の不足と対策（「ラウンドワン」のような施設の誘致）
- ・放課後に自由に使える居場所
- ・無料で利用できる体育館の整備
- ・駅構内の観光案内所の活用
- ・中央通りのシャッター街の再活用
- ・交通インフラの課題と改善案（バス・電車の本数不足）
- ・道路のでこぼこ、街灯不足
- ・JR 五十市駅のトイレ問題（トイレがない）
- ・雇用の課題（給料の低さで県外就職を検討）

- ・大手企業や給料の高い企業の誘致
- ・市の魅力発信の不足とPR強化（「肉と焼酎」のイメージ浸透不足）
- ・観光PRが下手、SNSでの情報発信不足
- ・インスタ映えスポットのPR強化
- ・温泉とキャンプを組み合わせた観光地PR
- ・自転車通学のヘルメット着用促進（かっこいいヘルメット導入など）
- ・都城市の「治安の良さ」や「住みやすさ」のアピール ほか

### ○南九州大学

- ◆日 時：令和7年7月8日（火）13：10 ～ 14：30
- ◆会 場：南九州大学本館 多目的室
- ◆テーマ：国外外来魚「コウライオヤニラミ」について  
花と緑の景観づくりについて  
保育士養成プログラムについて
- ◆参加者：学生13名、担当教員5名、  
議員14名（広報広聴委員ほか、文教厚生委員、産業経済委員）
- ◆内 容：詳細は下記のとおり  
～意見～
- ◎外来魚コウライオヤニラミの駆除と啓発活動
  - ・都城市内の萩原川や沖水川で発見（生態系を崩す懸念あり）
  - ・大学生個人の調査には資金不足が課題（研究資金の補助 など）
  - ・市と連携した大規模調査の実施（県との連携協定 など）
- ◎花と緑の景観づくり
  - ・都城西駅でのガーデンづくりの取組み紹介
  - ・地域の人々との交流
- ◎保育士の人材不足と保育の質の向上
  - ・「キャンパスピクニック」などの保育体験イベントの実施
  - ・不登校支援活動「青空ラボ」の実施
  - ・保育現場が抱える課題（給与の安さ、仕事の大変さ、保護者対応 など）
  - ・労働環境の厳しさ（休憩が取れない など）
  - ・「グレーゾーン」の子どもの増加
  - ・教材購入費や専門家による勉強会開催への資金援助（補助金制度）

### ○都城みらい創造研究会

- ◆日 時：令和7年11月13日（木）19：00 ～ 20：40
- ◆会 場：（株）新原産業2階 会議室
- ◆テーマ：都城市について議員と語ろう
- ◆参加者：都城みらい創造研究会会員8名  
議員14名（広報広聴委員会、常任委員会正副委員長）
- ◆内 容：詳細は下記のとおり



～意見～

◎移住応援給付金について

- ・給付金よりも保育士増加や学校給食費無償化に注力すべき

◎工業団地の課題について

- ・県外からの移転企業と市内の企業の賃金格差の問題

◎霧島酒造スポーツランド都城（山之口）活用並びに周辺の問題について

- ・携帯が繋がらない問題（移動基地局の設置）
- ・駐車場不足（民間の土地借用、シャトルバス利用）
- ・宿泊施設（青井岳荘の営業再開、ふれあいの館の合宿施設活用）
- ・志布志道路から都城 IC～山之口 IC の高速料金無料化

◎ふるさと納税寄附の活用について

- ・農業支援、学校給食費無償化、婚活への活用が必要

◎都城少年少女発明クラブの活動について

- ・カンガエールプラザの老朽化（エアコンがない）

◎市道の環境整備（雑草の処理）について

- ・交通事故の心配
- ・草刈り回数が少ない

◎南九州大学との連携強化について

（４） 都城市議会基本条例の広報広聴委員会に関する事項について

令和５年１１月に策定された「政策形成ガイドライン」において、市政の課題及び市民の意見等の把握方法として「議会報告会」が明示されたことにより、これまで以上に、議会における「広報」「広聴」活動の機動性を高めるべく、議会報告会の実施方法を含めた活動の見直しが必要となり、令和６年度については、実施方法の検討・協議を実施し、その協議結果を踏まえ議会報告会（意見交換会）実施要領を改正した。

また、市民との対話のあり方を明確化し、より市民に親しみやすさを（議会を身近に）感じてもらえるように「名称（愛称）の設定」や、実施方法の明瞭化（４種類の開催分類の設定など）を図った。

～改正内容～ ※抜粋

◎議会報告会（意見交換会）の名称

『じゃっどん じゃが！じゃが！』

議会としゃべろう～あなたの声がまちを動かす第一歩～』

◎議会報告会（意見交換会）」の種類

「委員会テーマ型」・「公民館公募型」・「地域テーマ型」・「団体公募型」

◎実施時期（固定）

毎年７月は、全常任委員会合同で議会報告会「全体会・分科会方式」を開催

※上記のほかは常時実施可能

## 5 委員会としての意見

### (1) 議会だよりの発行について

令和7年度の行政連絡文書の配付日の変更（毎月1回のみ）に伴い、議会だよりの発行日を「15日」から「1日」への変更を余儀なくされ、議会だよりのあり方についても、委員会で協議した。協議の中で、編集に係る委員の負担軽減の観点からページ数の削減や、簡潔な広報誌（タブロイド版）等の検討も必要ではとの意見もあった。これを受け、議会だより内で「市民アンケート」を実施したところ、結果としては「現状のまま」が多数を占めた。

これまで、議会だよりの作成・編集に当たっては、より親しみやすい誌面にするため、高校生等との意見交換会の様子を「ワカモノ特集」として掲載するほか、議会力向上に向けた活動の特集ページや、次号予告の掲載、編集に「AI」を活用するなど、議会として何に取り組んでいるのか、分かりやすく掲載してきた。その成果として、「見やすくなった」「議会の活動状況が分かりやすい」「議会だよりが楽しみ」等の声もいただいているが、配付範囲が公民館加入者のみで限定的なため、広く全市民に届いていない、議会活動を広報できていない現状がある。また、一般質問や討論等については、QRコード利用への抵抗感もあり、特に、高齢者からの不満の声がある。

今後は、議会における広報活動ツールの1つとして、どのように議会だよりを活用することが有効な広報活動に繋がるのか、SNS等の他の広報媒体とのバランスも含め、調査・研究が必要である。

### (2) 議会報告会の実施に関する事項について

議会の広報広聴活動の機動性を高めるため、令和7年度に議会報告会（意見交換会）の実施要領を見直し、新しいスタイルでの議会報告会を実施した。開催に当たっては、議会活動の報告に係る「全体会」での、政策提言、修正案、附帯決議など、議会の取り組みを分かりやすく、丁寧に説明できるような工夫（プレゼン資料含む）や、配付資料などは、その都度、見直しが必要ではあるものの、今回から議会報告会と意見交換会を組み合わせる形式（委員会テーマ型）を導入したことにより、各常任委員会においても「テーマ」に係る関係団体等への営業活動やラジオ告知、公共施設内でのポスター掲示等により、これまで議会報告会に参加の少なかった「若年層」の参加が得られた。

今後も、各委員会が主体性を持ち広く議会活動を広報する（市民に議会の動き（活動）を伝える）ための工夫として、複数会場での開催や、動画配信との併用、加えて、オンライン開催なども活用した、効果的な開催方法を模索する必要がある。

### (3) 意見交換の場に関する事項について

これまでの「来てください」という受け身のスタイルから脱却し、広報広聴委員会の委員、自らが営業マンとなり、各高校等への営業活動を実施したことにより、高校・大学・各種団体等との意見交換会を多く実施することができた。

今後も若者の声に留まらず、広く市民の意見を聴く広聴活動の強化が求められるとともに、各意見交換会においては、議員のファシリテート能力の強化も求められる。市民からの意見に対し、議会としてどのように回答・対応していくか（論議の場）や、

委員会間の縦割りを超えた課題整理が求められる。

加えて、意見交換の場へ市民がアクセスしやすくなるよう、特定のカテゴリに絞った意見交換や、自治公民館等の小さな単位での募集・開催や、オンライン開催を含む、ハイブリットな開催方法の導入など、市民ニーズに寄り添った、開催方法の調査・研究が必要である。

#### (4) 都城市議会基本条例の広報広聴委員会に関する事項について

都城市議会基本条例第4条（基本方針）において、「（3）市民の多様な意見を把握するとともに、議員相互の自由な討議を尊重し、政策立案、政策提言等を行うこと。」と規定されている。

また、第8条（市民参加及び市民との連携）においては、「5 議会は、市民との意見交換の場を多様に設け、議会及び議員の政策立案能力を強化するとともに、政策提案の拡大を図るものとする。」との規定もある。

さらに、第9条（議会報告会）においては、「議会は、市民への報告と市民との意見交換の場として、議会報告会を行うものとする。」とされている。

これらを踏まえ、今後も「広報」活動・「広聴」活動を、単なる単発（個別）の活動とせず、それぞれの活動を政策提言サイクルの1つとして位置付け、各常任委員会の活動等とも調和・融合させることが重要となってくるため、活動の実施に当たっては、実施（開催すること）が目的にならないよう、しっかりと活動の意味・目的（開催の到達点を定めるなど）意識を持って活動できるよう、広報広聴委員がその「ハブ（中核・集約点）」となり、議会における政策立案能力の強化・推進を図る必要がある。